

年間指導計画表

【備考1】表には実際に表現活動を行う教材のみ示した。
【備考2】表内「評価の観点」は次のように略して示した。

関心・意欲・態度…関心 話す・聞く能力…話・聞く能力…書く 読む能力…読む 知識・理解…知・理

教材名	「わたし」の ことを語る
時間	6
活動のねらい	・ 自分に関する事柄 ・ 自分の考えを客観的に把握する。 ・ 話す・書くという表現活動を通じて、自分のことをわかりやすく伝えるための姿勢（工夫・スキル）を学習する。 ・ 他の人のことを聞き、それに対する意見を書きちゃんと持つ。 ・ 他の人の意見を聞き、自らの考えを深め、表現活動に役立てる。
活動の大まかな流れ	①グループに分かれて自己紹介をし合い、意見・感想を交換する。 ②教科書のモデルを参考に、自己紹介文を書くためのテーマをクラス全体で話し合う。 ③グループに分かれ、テーマに即して、具体的に何を書くか意見を交換する。 ④書く内容を整理して自己紹介文の下書きを書き、相互評価を行う。 ⑤自己紹介文を完成させる。
評価の観点	関心・話す・聞く・書く・理解
評価規準	・ 活動に主体的に参加しようとし、話し合いでは、他の人の意見を聞き、また発言しようとしている。 ・ 自分の伝えたいことを整理している。 ・ グループのメンバーからの意見を聞き、文章に反映する。
評価方法例	観察記録 話し合い中の発言 作成資料 （メモカード、コメントカード） 提出課題 （自己紹介文、自己紹介集） 相互評価 自己評価

◆表現の窓1 ディベートを 楽しもう	新聞に投書し てみよう	
4	6	
・ディベートを通して、討論に参加する際の基本的な姿勢を学習し、討論することの楽しさを知る。	・意見文を書く基本を学習する。 ・話し合いを通じて相互評価の大切さう理解するとともに、自らの問題意識のありようを自覚する。 ・自らのものの見方を相対化することの大切さに気づく。 ・日常生活の中から問題や課題を発見し、それに対する自分の意見や考えを他者に伝えることの喜びを体験する。 ・同時に、文章を公にすることには、責任が伴うことを理解する。	
②テーマを選ぶ。 理解する。	①新聞の投書欄を三つ読み、関心を持った投書の内容とそれに対する感想をまとめる。 ②グループに分かれて①を発表し合い、相互に意見・感想を述べ合う。 ③②をもとに、グループごとに最も印象に残った投書をクラス全体に紹介する。 ④投書を書く。書き上げる過程で適宜、相互評価を行う。 ⑤書き上げた投書をグループやクラスで読み合い、相互評価を行うとともに、自己の活動を振り返る。	⑥「自己紹介集」を作り、相互評価を行うとともに、自己の活動を振り返る。
関心・話し・聞く・書く・知る	関心・話し・聞く・書く・知る（読む）	
・活動に主体的に参加しようとする。 ・討論に参加する際の基本的な姿勢について理解している。	・話し合いの活動に積極的に参加しようとする。 ・新聞の投書に関心を持つとうとする。 ・日常生活を掘り起こし、そこから問題や課題を発見する。 ・自分の考えや意見を明確にし、わかりやすい文章で表現する。	
観察記録 話し合い中の 発言 試合中の発言 作成資料	観察記録 話し合い中の 発言 作成資料 （課題プリント、メモカード） 提出課題 （投書文） 相互評価 自己評価	

ミニ講演会	
10	
・ミニ講演会という企画の準備から実施、まとめに至るまでを体験する。 ・クラス内外の人との具体的なコミュニケーションのとり方を学習する。 ・手紙・はがきの書き方、電話のかけ方の基本と、目的や内容の確に伝える表現のしかたを学習する。 ・よりよいミニ講演会の実現をめざして	・異なる立場の相手に自分の意見をわか つてもらうために、 判断の理由や根拠を 明確にすることと、 相手の意見をよく聞 くことの大切さを学 ぶ。 ・何かの問題や提案 に対し、自らの立場 を明確にすることの 必要性を感じ取る。
③依頼の手紙に對する返事への対応をする。クラスで必要事	③テーマについて、自分の立場を決め、理由・根拠を考え る。また、自分と異 なる立場の理由・根 拠を考える。 ④役割分担を決め、 ディベートを実施す る。 ⑤試合の感想文を書 く。 ⑥活動全体を振り返 り、相互評価を行う とともに、自己の活 動を振り返る。
理 知 書 聞 話 関 心 ・	理
・活動に参加し、作業を行おうとする。 ・話し合いでは、他の人の意見を聞き、また発言しようとする。 ・目的を明確にし、なおかつ相手に配慮した手紙やはがきを書いている。 ・手紙とはがきの特色や書き方について理解し、実際にその知識を応用して書いている。 ・相手に配慮した電話のかけ方に気づき、かけている。	・議論の流れを正確にとらえている。 ・自分の意見を整理して述べている。 ・適切な態度で話し、聞いている。 ・論題（テーマ）について、肯定・否定両方の立場で考えている。 ・ディベートの準備を適切に整理して行っている。
観察記録 話し合い中の 発言 作成資料 （コメント用 紙、質問カー ド） 提出課題 （紹介文、紹 介文集） 相互評価 自己評価	（ワークシ ー ト類） 提出課題 （感想文） 相互評価 自己評価

	◆表現の窓2 ことばを見つめる アンケート 調査からレポートへ
7	
話し合いをし、さまざまな意見・感想をもとに活動に反映する。 ・活動全体・自らの表現をよりよいものにするために振り返りの場を設け、一つの仕事を協力して行うことの意味と達成感を実感する。	・日常生活している「ことば」を自覚的に見直し、「ことば」に対する意識を高める。 ・資料やデータの扱い方・読みとり方、アンケート調査の活用について学習し、「情報」のあり方について考える。 ・実際のアンケート調査を行い、「情報」を活用してレポートを書く。 ・日本語について、関
項を話し合った後、確認はがきを書き、電話で打ち合わせをする。 ④役割分担をし、ミニ講演会実施に向けて準備する。 ⑤ミニ講演会を実施し、講演を聞く。 ⑥ミニ講演会を振り返り、意見・感想を述べる。 ⑦感想文を書き、「感想文集」を作る。	①日常生活で無意識に触れている、話し方、ことば遣いを確認し、整理する。 ②クラスでことばに関するアンケート調査を行い、その結果を考察する。 ③②の結果と共通する既存のデータを比較し、考察する。 ④教科書のレポート文例を通じてレポート文の形式を学んだ上で、別の課題でレポート文を書き、相互評価を行う。
関心 話 開 書 知 理	
・自分自身の話し方、ことばの使い方を見つめ直す。 ・ことばに関するアンケート調査の方法や数値データの分析のしかたを理解している。 ・レポートの形式に即して、わかりやすいレポートを書いている。 ・日本語についての見方を広げたり、関心を高めたりしている。 ・グループ活動に積極的に参加し、その中で自己に与えられた責任を果たしている。	
観察記録 アンケート活動 グループ活動 口頭発表 作成資料 （各自の記録・メモ、感想文） 提出課題 （レポート文） 相互評価 自己評価	

この本読んでみて！ ―本を紹介しよう		◆表現の窓3 文学の表現 ―表現を豊かにする
6	8	
・読書意欲を喚起し、本に対する興味・関心を持つ。 ・他の人にその本を読んでもらいたいという自分の意志を伝える。 ・他の人にその本を読んでもらうという気にかせる紹介文の書き方を考える。 ・他の人の活動に意見を述べ、他の人の意見に耳を傾けるようにする。 ・本を紹介する表現活動や相互評価を通じて、自分を見つめ、自らのものとなえ方を自覚する。	・『伊曾保物語』の「蟻と蟬のこと」、『イソップ物語』の「セミとアリ」、佐野洋子「ありときりぎりす」を	・心を高めたりする。 ・グループ活動に参加し、その中で自分に与えられた責任を果たす。
①自分自身の読書生活を振り返る。 ②紹介する本を選び、その本の情報、出会い、感想をコメント用紙にまとめる。 ③グループに分かれ、コメントを読み合い、意見交換する。 ④教科書のモデルを参考に、紹介文の構成を考え、紹介文の下書きとコピーを作る。 ⑤紹介文を完成させる。 ⑥「紹介文集」を作り、相互評価を行うとともに、自己の活動を振り返る。		
関心・話聞（書く・読む） 知理	関心・話聞 知理	関心・話聞 知理
・紹介する本を選ぶとする。 ・グループで意見交換をする際に、積極的に参加し、他の人の意見を聞き、また発言しようとする。 ・選んだ本のよさがわかりやすく伝わり、他の人を読む気にさせる紹介文を書いている。	・古文の音読に慣れ、古文の表現を味わおうとしている。 ・文語のきまり、歴史的仮名遣い、語句の意味を	
- 観察記録 - 話し合い中の発言 - 提出資料 （各自の記録）	- 観察記録 - 話し合い中の発言 - 作成資料 （コメント用紙、質問カード） - 提出課題 （紹介文、紹介文集） - 相互評価 - 自己評価	

聞き書きの世	
10	
・身近な人気のイン	読み、それぞれの表現上の特徴や、表現しようとしている内容について考察をめぐらす。 ・文学作品に表れたさまざまな表現を通して、表現の豊かさを考え、味わう。 ・読み比べの体験を経て、物語や作品を作りかえる創作活動を行う。 ・表現活動や相互評価を通じて、自らの表現意欲を高める。
①自分の周囲から、	③「蟻と蟬のこと」について大まかな内容をつかむ。 ④古語辞典の引き方を知る。 ⑤「蟻と蟬のこと」と「ありときりぎりす」を読み比べる。 ⑥翻案による文学作品「ありときりぎりす」を読み、表現上の特色や工夫について指摘をし、考えてみる。 ⑦翻案による物語を実作するための作品を選定し、どのように作りがえるか、その内容や設定について構想する。 ⑧⑦をもとに、物語文の下書きを書く。 ⑨グループに分かれて⑧を読み合い、相互に意見・感想・アドバイスを伝える。 ⑩物語を書き上げ、相互批評を行う。また、同時に自己の活動を振り返る。
関心	読む書く
・すてきな人物について	理解している。 ・佐野洋子の「ありときりぎりす」の表現をていねいに読み味わおうとしている。 ・さまざまなアイデアを取り入れて物語を作りかえている。 ・話し合い活動に積極的に参加したり、他の人がつくった物語を的確に批評したりしている。 ・表現の豊かさについて考えたり、表現することの喜びを感じている。
観察記録	・メモ、感想カード、創作準備用紙） 提出課題 （創作文） 相互評価 自己評価

◆表現の窓4 情報手帳で伝えよう、学校の生活の知恵 情報の収集	界 身近な人の話を聞こう
8	
・記録・報告文を書く基本的な姿勢（工夫・スキル）を学習する。 ・情報を伝えるメディア	タビユー作業を通じて、言語表現活動の活性化を図る。 ・基本的なコミュニケーションやオリジナルティとは何かを学ぶ。 ・他者とのコミュニケーションを通して、自らの問題意識を明確に気づく。 ・インタビュース結果を短いレポートにまとめるまでの活動を通して、自らの考え方の変容のプロセスを自覚するとともに、文章を公にすることの責任を理解する。
①クラスでブレインストーミングを行い、情報手帳に入れている内容について話し合う。	インタビュースの対象とする魅力的な人物を探す。 ②人物が決まったら、なぜその人なのか、何を聞きたいのかを考える。 ③インタビュースの依頼・日時の約束をする。 ④インタビュースの目的と内容、方法を確認した上で、インタビューを実施する。 ⑤インタビューを再現し、まとめる。 ⑥⑤までをもとに聞き書きの文章の下書きを書き、適宜相互評価を行う。 ⑦聞き書きの文章を完成させる。 ⑧「聞き書き集」を作り、相互評価を行うとともに、自己の活動を振り返る。
関心・話し・聞く・書く・知る	話し・聞く・書く・知る・理解
・グループやクラスで見交わや検討をする際に、積極的に参加し、他の人の意見を聞き、また発言しようとする。	て、自分の問題としてとらえ、取材しようとする。 ・クラスでの議論や意見を十分に取り入れようとする。 ・インタビュースする時に自分の聞きたいことを整理して理解している。 ・動機・取材・結論の流れに一貫性のある文章を書いている。
観察記録 話し合い中の発言 作成資料 （各自の記録	話し合い中の発言 作成資料 （各自の記録、メモ） 提出課題 （聞き書き文、聞き書き文集） 相互評価 自己評価

・整理と伝達	「わたし」の意見を表示する
	8
・アイには常に忝意性が含まれることを、実際に活動していく中で体感する。 ・グループ活動を通じて、相互批評の大切さと、協力して取り組む、作りの意義を理解すること。	・社会に目を向けたやや大きなテーマ（「国際化」）を取り上げ、そのテーマが
②グループに分かれ、担当するトピックスを決めて編集会議を行い、その成果をもとにクラス全体で情報手帳のアウトラインを作る。 ③情報についての取材を計画し、内容・方法を確認した上で、取材を実施する。 ④グループで記事の割り付けを検討し、取材記事を書く。 ⑤④の取材記事について相互点検をする。 ⑥記事を完成させて、②で決めたアウトラインに沿って「情報手帳」の冊子にまとめる。 ⑦各グループの記事について感想を述べ合い、相互評価を行うとともに、自己の活動を振り返る。 ①「国際化」を自分とのかかわりで考えることを確認する。 ②グループに分か	
理	関心・知理・話
・協力して活動しようとする。 ・情報を適切に分類・整理する方法を理解し、適切に選択・整理している。 ・取材を適切に計画し、実行している。 ・事実を正確に、わかりやすい文章にまとめている。	・活動に主体的に参加しようとしている。 ・「わたし」の意見を自分のことばで語ろうとする
・メモ、コメント用紙） 提出課題 （取材記事、情報手帳） 相互評価 自己評価	観察記録 口頭発表 話し合い中の発言

自分にとってどうい う問題であるか、テ ーマと自分とのかか わりはどういうもの かを具体的に考える。 ・話す・聞くという 活動、図書館やイン ターネットを利用し て調べることを通し て、自分の意見や考 えを深化させ、他者 に伝える。 ・自分の意見を相対 化し、深化していく 過程を実感させ、生 徒の自立意識を育む。	れ、意見を出し合う。 ③他の人の発言をふ まえて、自分の考え を整理し、口頭発表 の準備をする。準備 に際し、図書館やイ ンターネットの活用 をはかる。 ④グループ内で口頭 発表をし、意見交換 をする。 ⑤④をもとに自分の 考えを深めた上で、 文章化する（意見文 を書く）。 ⑥「レポート集」を 作り、相互評価を行 うとともに、自己の 活動を振り返る。	
	書く	聞く
る。 ・図書館やインターネッ トを利用し、活用のしか たを考えている。 ・メンバーからの意見を 聞き、文章に反映してい る。 ・論理的に整った文章を 書いている。		
提出資料 （各自の記録 ・メモ、感想 シ ー ト） 提出課題 （レポート文、 レポート文集） 相互評価 自己評価		